

教育や人材育成分野におけるデジタル技術活用のトレンドがわかる！

国際会議

「ICCE2023」

参加報告会

2024
2.16 Fri
12:30～16:35

生成AI、XR(拡張現実)など、デジタル技術の急速な進歩は現代社会のあらゆる分野に影響を与え、旧態構造を揺さぶり続けています。教育や人材育成分野においても、その衝撃は計り知れません。教育とデジタル技術の双方に携わる世界の研究者たちは、何を思考し、実践し、教育の在り方はどう変わろうとしているのか。その潮流の一端をみなさまと共有するために、このたびICCE2023に若手研究者を3名派遣し、本報告会を開催いたします。

会場

日本工業大学
神田キャンパス 303教室
(東京都千代田区神田神保町2-5)

参加者

無料

開催開式

ハイブリッド開催

定員

対面会場 **30名**
オンライン会場 **100名**

参加対象者

学校教育関係者の方／人材育成に従事する方／授業や研修設計あるいは教材開発等に携わる方
／教育工学等の分野で教育研究に携わる方 など

プログラム

12:00	開場	14:25	休憩
12:30	オープニング	14:35	発表 3
12:35	発表 1	15:30	質疑応答／パネル ディスカッション※
13:30	発表 2	16:35	クロージング

※パネルディスカッションのテーマ案(検討中)

「テクノロジーは教室から教員を追放する」「ICCE2023の知見を応用した私の授業シラバス」など

今回派遣した3名の若手研究者レポーター／

村上 祐子

広島大学 情報メディア教育研究センター 助教
広島大学大学院で博士(理学)を取得、企業に従事したあと、現在は広島大学情報メディア教育研究センターに勤務。情報リテラシー授業のティーチングアシスタントを経て、学生に対する情報倫理やデータサイエンス教育に関連する教材開発や評価手法を研究。

加藤 圭太

早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程1年
愛知県立旭陵高等学校(通信制)で数学科の教員として勤務。専門分野は教育工学、通信制高校の単位修得率向上のためのデザイン研究に取り組む。

小笹 滯

早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士前期課程1年
2023年共立女子大学文芸学部文芸学科文芸メディアコース卒業。遠隔教育やデバイスを用いた教育支援について興味を持ち、学部時代から現在にかけて音楽の演奏スキル上達支援について研究。

国際会議「ICCE」とは

ICCE (International Conference on Computers in Education) は、APSCE (Asia-Pacific Society for Computers in Education) が主催する国際会議です。情報通信&情報技術の教育活用を多面的に議論する場として、1989年に台湾で第1回が開催されました。その後は開催国を変えて毎年開催されています。2023年の第31回大会は、「コンピュータ

技術と教育との融合」をメインテーマに、情報通信技術を基盤とする教育システムの開発から教育現場での実践活用まで幅広いトピックを網羅し、島根県松江市で開催(12月4日～8日)されました。

2023.12.4 V1.0

主催

特定活動非営利法人
学習分析学会

詳細・お申し込みはこちら

<https://jasla.jp/event/seminar043/>

